

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。



解熱鎮痛薬

歯痛・解熱に

第②類医薬品

ハイタミン錠

ズキッ ズキッ……突然の歯の痛みは我慢できません。特に夜間や休日時の歯痛は困りものです。こんな時のために、ハイタミン錠があります。

ハイタミン錠は、むし歯や歯槽膿漏などによる歯の痛みや歯を抜いたあとの激しい痛みをしずめ、また、歯の痛みからくる耳の痛みや頭の痛みにもすぐれた効果をあらわす鎮痛薬です。また、さむけ・発熱時にすぐれた解熱作用を示します。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

- 次の人は服用しないでください
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 服用前後は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 高齢者。
(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(5) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

	皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、 皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に 小さなツブツブ(小膿疱)が出る、全身がだるい、 食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
*	薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、 体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根 等)のはれ等があらわれる。
	肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、 褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
	腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだる さ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
	間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れが する・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これら が急にあらわれたり、持続したりする。
	ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦 しい等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って
医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

成分 アセトアミノフェン……………300mg エテンザミド……………500mg
2錠中 カフェイン水和物……………60mg
添加物としてヒドロキシプロピルセルロース、ポビドン、ステアリン酸Mgを含有する。

効能 1) 歯痛・抜歯後の疼痛・耳痛・頭痛・咽喉痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・
肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量 次の用量をなるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は6時間以上
おいてください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	2錠	2回を限度とする
15歳未満の小児	服用しないこと	

<用法・用量に関連する注意>

- 定められた用法・用量を厳守してください。
- 錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く
押しつけて裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。
(誤ってそのままのみ込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等
思わぬ事故につながります。)



保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- 使用期限をすぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先

本剤について、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めの
お店又は下記までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

アラクスお客様相談室 ☎0120-225-081
〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目2-26
受付：9:00～16:30(土日・祝日を除く)



株式会社 アラクス

〒460-0002
名古屋市中区丸の内三丁目2-26
製品情報をホームページでご覧ください。
www.arax.co.jp